

2010 年

8 月 16 日（月曜日） - 夢と自然に抱かれた長者村へ「第 29 回風蘭の里まつり」 -

本日、「第 29 回風蘭の里まつり」が蒲井区、旭区の住民祭として、住民の皆さん、帰省の皆さん、観光の皆さんはじめ大勢参加され、にぎやかに開催をされました。心からお祝いを申し上げます。

ところで、地元におきましては、昨年 11 月に、田舎の隠れ宿「いっぺん庵」が地元の皆さんが中心になって建設、オープンをみました。

蒲井区・旭区を巡りましては、昭和 50 年から始まった 30 年間におよぶ久美浜原子力発電所立地問題が平成 18 年に立地調査申し出に係る本市からの撤回要請等もあり終止符がうたれましたが、この間の地域住民の皆さんの地域を想う大きく、熱く、尊い思いと大変な御労苦を行政として真しに受け止め、住民の皆さんが新たに心一つにして一丸となって将来のまちづくりに勤しむことができるよう、「蒲井・旭地域振興計画」を策定しました。この「いっぺん庵」は、本計画の中心的な施設であり、電力会社からのご寄附を元に建設が進められたものですが、利用される都市部の皆さんに大変評判も高いとお聞きしており、まだまだ課題もあると思いますが、心から嬉しく感じております。

また、平成 20 年度に関係者の皆さんあげて制作していただいた「ツリーハウス」についても、昨年度は 1500 名以上の来訪・利用者があったと伺っておりますし、平成 19 年度より事業着手しています農地付き滞在型住居施設「クラインガルテン」についても、来年 4 月のオープンに向け最終段階にきています。

かつてこの地域は、海と山に囲まれ四季折々の草花が咲き乱れた長者屋敷の村があり、訪れる人々は村人からのもてなしや心和む風景に時の経つのも忘れて過ごし、何度も通ったり住居を移す人もあった、と伝えられていますが、今後は、尊い歴史と地域の豊かな自然環境を大切に活かして、地域の皆さんが中心となり、魅力一杯の「夢と自然に抱かれた長者村」を築いていこうと行政ともどもに決意を新たにしています。今後ともこの素晴らしい計画の着実な推進に向けできる限りの協力をしていきたいと思っております。